

2008年5月9日
株式会社 SOBA プロジェクト

無料の P2P 型 テレビ会議 / Web 会議システム
「SOBA CITY」 登録ユーザ数が 1 万人を突破
<http://city.soba-project.com/>

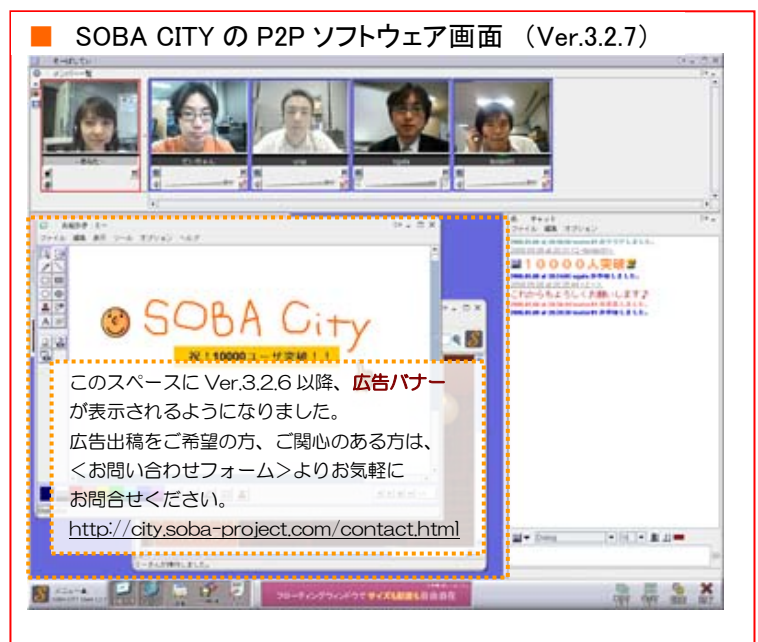
産学官発ベンチャー企業の株式会社 SOBA プロジェクト(本社:京都市下京区、代表取締役社長 緒方 敏博)が開発と運営を行う「SOBA CITY(ソーバ シティ)」の登録ユーザ総数が、2008年4月末現在で1万人を超えたことを公表いたします。また、SOBA CITY 上でのオンライン広告を開始しましたので、詳しくはお問い合わせください。

SOBA CITY は、多人数の映像・音声と標準的なコミュニケーションツールであるチャットツール、ホワイトボードツールや Web ブラウザツールを利用できることに加えて Windows のアプリケーションを共有できるツールも簡単に活用することができるビジュアルコミュニケーションサービスです。ビジュアルコミュニケーションを行うために必要とされる便利な機能が満載されているにも関わらず、本サービスは無料で利用できます。

本サービスは 2006 年 3 月 15 日付けで公表して以来、Web カメラとヘッドセットを用意するだけでいつでも手軽にビジュアルコミュニケーションを始めることができるため、さまざまなコミュニティや友達同士等によるパーソナルユースから遠隔会議や遠隔相談等のビジネスユースに至るまで多岐にわたる利用シーンで多くのユーザにご利用いただいております(以下の利用例を参照)、この度本サービスの登録ユーザ総数は 2008 年 4 月末現在ですでに 1 万人を突破し、ご好評を頂いております。

今後、さらに高速化されるインターネット環境や PC の高性能化に伴い、インターネットの新たなコミュニケーションの手段として SOBA CITY などのビジュアルコミュニケーションツールが多くの人に普及・利用されることが予測されており、加速度的にビジュアルコミュニケーションの市場が拡大すると見込まれます。当社は、使い慣れたユーザやまだ未体験のユーザにとってもやさしいビジュアルコミュニケーションツールを無料で提供する SOBA CITY によって、私たちの身近な生活やビジネスライフが少しでも豊かになるように願っています。

なお、SOBA CITY のサービスを支える基盤的技術には、当社の前身である産学官共同 SOBA プロジェクトとして 2002 年度から 3 年間にわたって取り組んだ研究成果、および 2005 年 1 月に法人化した当社の 2005 年 12 月から 2 年間にわたって取り組んだ独立行政法人情報通信研究機構民間基礎技術促進制度の業務委託による研究成果を活用しています。本サービスがソーシャル・キャピタル(社会関係資本)に位置づけられることを目指して本サービスは無償で一般に公開を試みるものであり、新たな時代のサービス提供・向上をはかって参ります。



■ SOBA CITY の利用例

- 企業内・企業間での会議
 - 支店間の会議に利用。出張コストを削減し、業務効率の向上に活かされています。
- 遠隔サポート
 - 遠隔地のユーザに対してパソコンやソフトウェアの使い方やトラブル時のサポートに使われています。
- 遠隔相談／遠隔コンサルティング
 - 企業会計や経営などに関する相談業務やコンサルティングなどに使われています。
- 遠隔講義
 - 遠隔地を繋いだセミナーや講演会に利用されています。
- コミュニティメンバーの情報交換
 - さまざまなコミュニティのメンバー同士で情報交換や親密な交流の促進等に利用されています。

■ SOBA CITY の動作環境

	動作環境	推奨環境
OS	Windows Vista／Windows XP SP2 以降／Windows 2000 SP4	
CPU	Celeron 700MHz 以上 Vista Pentium III 1GHz 以上	Pentium4 1.4GH 以上
メモリ	256MB 以上 Vista は 512MB 以上	512MB 以上、 Vista は 1GB 以上
HDD 容量	インストールされるファイルは約 40MB	
ネットワーク環境	ADSL 環境、光回線環境	光回線環境(100Mbps 以上)
周辺機器	Web カメラ／USB PC カメラ、スピーカー、マイク、ヘッドセット ※ノイズキャンセラー／エコーキャンセラ付スピーカフォン推奨	
Web ブラウザ	Internet Explorer Ver.6 以降	

■ SOBA プロジェクトについて

京都発祥の、産学官共同研究プロジェクトから生まれた次世代の双方向型ビジュアルコミュニケーション市場を開拓する企業です。

SOBA プロジェクトは、2001 年京都大学を中心とした研究グループ(京都大学、東京工業大学、早稲田大学、慶應義塾大学)とオムロン株式会社の研究所による産学共同体制で発足。その後まもなく NTT コムウェア株式会社が同プロジェクトに参画し、加えて財団法人京都高度技術研究所を母体に 2002 年度から 3 年間にわたって文部科学省による業務委託を受託し、産学官共同による SOBA プロジェクト体制で技術開発が推進されました。

2005 年 3 月に SOBA の概念と SOBA テクノロジーを確立し、研究成果である SOBA フレームワークが完成しました。2005 年 4 月、SOBA テクノロジーの開発メンバーが「株式会社 SOBA プロジェクト」を設立し、ブロードバンド時代のビジュアルコミュニケーション市場を開拓しています。

【株式会社 SOBA プロジェクト 会社概要】

設 立 : 2005 年 1 月 27 日
 資 本 金 : 6,850 万円
 役 員 : 代表取締役社長 緒方敏博 / 取締役副社長 乾 和志
 業務内容 : 情報通信業・情報サービス業 (ソフトウェア受託開発／研究開発)・
 インターネット付随サービス業 (ASP サービス)
 本 社 : 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地
 京都リサーチパーク 2 号館 2 階
 URL : <http://www.soba-project.com/>
 TEL : 075-323-6066
 FAX : 075-323-6067